### 人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます!

# JAPAN NOW 観光情報協会

Non-Profit Organization JAPAN NOW TOURISM INFORMATION ASSOCIATION

東京都知事が認証した「都市・環境・観光NPO」が発信する隔月刊情報紙

第94号 発行日2014年03月28日

#### Contents

2014年観光予算。JN協会理事会	 1
海事立国フォーラム「船旅のこと」。会員増強を!	 2
霞が関情報。街道観光のすすめ	 3
ア刈カこぼれ話「アロハシャツ」。三大瀑布	 4
故松尾さんを語る本。COLUMN	 5
城下町と観光(出石)。NEWSPOT郵政博物館	 6
日本酒で乾杯を。観光立国セミナー	 7
お天気(桜前線)。編集後記	 8



ろは、4月下旬から5月上旬にかけて。 
りラのトンネルの先には、残雪の岩木山が。見ごりが前城のサクラと並ぶ名所で、6500本ものサ世界一と称する櫻並木が、青森県弘前市にある。

## 2014年度観光関係予算決まる 103億円強 訪日客2020年に2000万人目指し踏み出す

2014年度一般会計予算が決まった。観光関係は前年比1%増の103億5900万円(復興枠を含む)で、主な項目としてはビジット・ジャパン事業など「訪日外国人拡大に向けたインバウンド政策の推進」が約85億円と、前年比4%増。新しい項目は、『観光地ビジネス創出の総合支援』(7200万円)がある。民間にも知恵を出してもらおう、ということだ。

昨年の訪日者が初めて1000万人を超え、今年1月には前年比40%、2月も20%強の増加となっておりオリンピック・パラリンピック東京大会の追い風もあって、今後7年間での目標達成を楽観視する向きもある。これについて、観光庁は「そう簡単ではない。世界観光機関(UNWTO)は、2020年の日本への外国人旅行者は1500万人と予測している。我々としては、官民挙げて突き進むほかない」(篠原康弘審議官)として、次のような対応策を挙げている。

ビザ要件のさらなる緩和、消費税の免税店を倍増 し人気の化粧品を含め全ての商品を対象とする、ビ ジット・ジャパン事業(訪日プロモーション)の対 象国の拡大、航空ネットワークの充実・拡大、ク ルーズのルートを拡げる、アジア諸国等からの教育 旅行の誘致に力を入れる、などである。

日本への入国ルートは、空と海しかない。観光先進地フランス、イタリアなどは、陸路での出入国が多いためで、空路と船舶での入国に限ってみると2000万人くらい。従って、日本でも2000万人はいけるはず、と強調する。

また、最近の傾向として、オリンピック・パラリンピック東京大会が決まってから、急速に大型の国際会議が日本で開かれるようになっており、これも好ましい傾向だ。

ただ「観光関係予算が200億円(韓国観光公社分も 含めると600億円)もある韓国に比べ、まだ日本の予 算は少ない」と、ちょっぴり嘆き節も。

#### JN協会は5月に総会

#### 3月の理事会で予算等決める

JAPAN NOW観光情報協会(大島慎子理事長)は、3 月26日に理事会を開き、2014年度の予算案、事業計画、理事人事等を内定、通常総会に上程することを 決めた。

① 通常総会は5月23日(金) 午後3時30分から、東京・麹町の「海事センター」で開く。総会後、懇親会を開く ② 総会記念講演は、ジャパンインバウンドソリューションズ社長の中村好明氏にお願いする ③ 2014年度予算は、収入が約711万円(繰越金含む)、支出約501万円とする ④ 事業計画として、10月に名古屋での観光立国フォーラム、東京で月1回のセミナー、成田空港の見学会、各国大使館でのセミナーを開くことなどを内定した。リニア新幹線の試乗会は、今年11月から行われるが、来年以降JN協会も参加する方向。

また、JN情報紙の制作などに使用しているパソコン2台を更新することを認めた。

なお、2014年度予算を執行するにあたって、収入 予算を確保するために会員増強が不可欠であり、理 事全員で努力することを確認した。

#### 「海洋観光と船のたび再発見へ」 国土交通省海事局長 森重 俊也氏が講演

今年2月、(公財)日本海事センター主催で海事立国フォーラムin東京2014が開催され、国土交通省海事局長・森重俊也氏が「未来を拓く海事行政」と題して基調講演を行った。

テーマのひとつとして、楽しみの新展開、「海洋 観光と船のたび再発見へ」が語られた。以下、その 概要である。

世界のクルーズ需要は増大で、外国客船による日本発着クルーズの拡大も予定されていると言う。対して日本のクルーズ人口は横ばいで、顧客層の拡大が課題である。船の旅には多様な面白さがある。

「瀬戸内海の夕日」「船上から眺める瀬戸内海と満 天の星空」などクルーズ船の航路によって色々な楽 しみかたができる。

訪日外国人旅行者増加のためにもクルーズ需要の 拡大が課題であると語る。

#### 私の船旅体験

#### JN協会理事 堤 るり

かつて宮崎で仕事をしていた時東京まで帰るのに 良くフェリーを利用しました。日向から神戸まで フェリー、その後は新幹線を利用しました。仕事を 終えて夜フェリーに乗ると翌日お昼頃東京に着きま す。フェリーは横になれます、自由です、料金も安 いです。

その後、時刻表を見ながら行きたいところのフェリーの航路を見つけ乗船したのが、伊勢湾のあたりです。夜乗って朝着くパターンですが、そのフェリーにはお風呂があったのです。手足を伸ばし窓の外には漁り火など見えて、極楽!極楽!最高の癒しを味わいました。その航路はのちに廃止になり、とても残念に思ったものです。

#### JN会員からも「船旅」の提言

JN協会の会員からも船の旅の提案がなされた。 海外の河を船で旅した体験から、大型客船にはない 船旅を満喫したと言う。瀬戸内海の島々など小型客 船で結ぶように、日本の自然の美しさ歴史などを ゆっくりと鑑賞できる観光ルートの開発がもっと あってもいいのではないかと提言する。

フェリーでお風呂をと思い、調べて見ると沢山ある。例えば、大阪南港を19時50分に乗り新門司港に翌日8時30分到着の長距離フェリー。明石海峡大橋、瀬戸大橋などのライトアップも鑑賞でき、手足を伸ばせる展望風呂もある。夜中の移動で時間が有効に使えるからビジネス、旅行に大変便利だろう。問題は天候に左右されること。欠航が多い時期は考えないといけない。天候を調べ、先ずは1泊のお試しクルーズを味わってみると良いのではないか。

#### 発信力強化めざし会員増強を! JN協会へ私の提言

#### 今井 智康(KKR代表取締役)

訪日外国人1千万人を超えた日本の観光は新しい 段階に踏み込みましたが、その先には2020年に2千 万人、2030年には3千万人という目標と戦略が用意 されており、すでに関係各所は次の動きに移行して います。

そうした中で重要なのが「情報」です。孫子の兵 法にも情報の重要さが記されているように、情報は 戦略の眼であり、行動判断に必要な知識です。

JAPAN NOW観光情報協会(以下」N協会) は設立当

初から「観光立国宣言の精神を広く啓蒙」することを目的とした情報発信活動に尽力されてきました。「JAPAN NOW紙」や「観光立国セミナー」「観光立国フォーラム」、一般では望めない施設の「見学会」等、そのリアルな情報の伝達は、情報が電子化され温もりの無いテキストベースで広がる昨今、非常に

さて、次の段階を迎えた観光は、情報の新たな形の発信を求めているのではないでしょうか。本誌第93号に掲載された大島理事長の「これからは更に地域レベル、個人レベルに観光の意義と楽しさを発信して」という言葉にもあるように、情報は個人レベルまで必要とされる時代となっています。

価値の高いものと思います。

溢れる情報の中から利用者が選びやすく、加工しやすい形にして提供するのも新しい情報発信です。例えば①HPとFacebookの連動②メールマガジンの発行③魅力ある見学会の拡大④会員向け限定情報発信(パスワード管理情報)⑤「現場での情報活用セミナー」⑥観光立国フォーラムにおける「分科会の開催」⑦地域の「観光ワークショップ開催」なども新しい発信の形です。こうした新しい形の情報発信は、観光現場で活かされ活性化に貢献できるものと思います。

ただし、新たな形の情報発信を行うには、JN協会の体力の向上、会員の増強が求められます。

魅力ある情報の発信で新たな観光の時代を切り開くために、JN協会の会員増強について考える次の段階が来ているのではないでしょうか。

#### 1、2月の外国客は過去最高ペース

日本を訪れる外国人客が、今年に入って過去最高ペースとなっている。日本政府観光局(JNTO)の調べでは、1月は前年比約40%、2月も20.6%増で、1~2月を合わせると、前年と比べ30.5%増と過去最高ペースの182万4000人。

これについてJNTOは、円安効果、ビザ条件の緩和やLCC(格安航空)の普及、東南アジアはじめ誘致プロモーションの奏功などが、主な理由としている。

中でもビザ条件を緩和したアジア諸国はじめ、1~2月には9か国が、過去最高の数字となっている。尖閣問題で大幅に落ち込んでいた中国も、その反動もあって過去最高の入国者を記録している。

#### 東京 **霞が関発の最新情報** 国土交通省・総務省・財務省

#### 韓国からの訪日客を増やすため使節団を派遣 日本旅行業協会(JATA)会長 菊間潤吾(きくま・じゅんご)氏



東京都出身。1975年3月独協大学外国語学部 ドイツ語科卒、4月ワールド航空サービス入 社。90年常務、94年社長。13年6月会長。2012 年6月からJATA会長。61歳。

菊間会長は、このほど今年の抱負と当面の観光業界の課題について次のように述べた。

昨年、訪日観光客が1000万人を超えて政府や観光庁は観光に対して熱が入ってきている。そうした流れの中でJATAとしては9月25日から28日にかけて東京ビックサイトで開く『ツーリズムEXPOジャパン2014年』を成功させなくてはならない。この展示会は日本観光振興協会が今まで『旅フェア日本』として開いていたものを、わが協会が行ってきた『JATA旅博』と一諸に開くことになった。昨年11月に発表しました。15万人の来場者を見込んでおり、世界でも大規模な観光イベントになります。

## ーところで海外への旅行者の動向はどうなっていますか?

中国・韓国など北東アジアが来るほうも行くほうも不調なので、JATAとしても両国からの総合交流の旅行者を増やすことに全力を上げています。韓国には私(菊間会長)が団長になって2月4日から6日まで観光使節団を出しました。大手旅行会社の経営幹部や海外旅行担当役員など18人が参加しました。韓国への日本の旅行者は昨年は20%も減りました。このために韓国一般旅行業協会(KATA)とJATAで観光促進ワーキンググループを立ち上げています。こうしたことから韓国観光公社の協力の下で今回の派遣ができました。

#### ―具体的にはどのような成果がありましたか?

韓国の観光公社や文化体育観光部、ソウル市などと双方の観光交流の振興について協議しました。その結果、日本から昨年より1割多い300万人の旅行客を韓国に送る努力をすることを双方で確認しました。韓国側から日本の行政トップに日本からの旅行客を歓迎するメッセージを発信するなど歓迎ムードを作ってもらうように要請し前向きに検討するという回答を得ました。日本側はできるだけ早く韓国キャンペーンを行うことにしました。

KATAとは消費者のニーズに合う商品や地方都市観光の商品などの開発でも合意しました。

このほか中国にも使節団を実施していきたいと思ってます。インドには田川博巳副会長(ジェイティービー社長)が1月21日にインドで開かれた日印観光官民シンポジウムに参加しました。海外への旅行者も1800万人台になることは間違いないでしょう。格安の航空会社(LCC)が乗り入れてくるほか、日本の会社も増えてきています。

#### ー燃油サーチャージの問題はどのようにしていきます か?

これをサーチャージとしてとっているのはおかしいという主張をしています。海外ではマイレーシを入れており、

日本でもそのようにしてもらうように JATAは活動していきます。

## -2012年の高速バス事故や万里の長城の日本人の遭難などがありましたが、安心安全についての取り組みはどうなっていますか?

JATAとして昨年末に観光庁に「観光危機管理における組織的マネジメントのあり方」を提出しました。具体的行動指針として旅行安心マネジメントを提言しています。経営トップが安全管理責任者として現場まで安心安全の意識で動く組織を作る。PDCA(プラン・ド・チェック・アクション)サイクルにあった具体的取り組みを推進すること、などです。トップから末端まで安全・安心の意識を徹底させることにつきます。

聞き手 経済ジャーナリスト 阿部 和義

#### 「街道観光」のすすめ③

(今なぜ街道観光か)

#### J N協会副理事長 須田 寬(JR東海相談役)

「街道観光」とは人間の交流手段であり又交流の場でもある「街道(みち)」を訪れ、(歩き)交流の原点にふれると共に沿道の景観、まちなみや街道周辺に形成された文化にふれることによって人的交流をはかる「観光」のことをいう。

国内観光は近年低迷している。むしろ一部の指標では後退さえしている。

それはこれまでの国内観光が、様々な他のアミューズメントの盛行でそれらに対して競争力(観光の魅力)が弱まってきていることによると考えられる。また学習観光、体験観光等最近の観光ニーズに対応する受入態勢が不充分なことも観光低迷の原因である。さらに観光は物見遊山といわれるように、ただの遊びにすぎないと誤解され観光資源の一側面だけしか注目されなかったことも多く、そのためマンネリ化したことも指摘される。観光は「文化活動」のひとつである。人間の文化は人の交流によって創成発展してきた。従って人的交流促進を目的とする観光は文化活動にほかならないと考えられるからである。

「街道観光」は人間の交流手段でありその原点でもある「みち」を訪れ沿線の文化にふれ又「みち」によって集積された「まち」の文化に接するものである。「みち」を介して多くの人的交流がそこに生まれてきたことを考えれば「街道観光」こそ観光即ち文化活動の原点にほかならない。さらに「みち」という着眼点から様々な観光対象に接するとき従来と異なった魅力をそこから発見する。国内観光低迷を打開するカギのひとつは、文化活動の原点としての「街道観光」の推進にあるのではなかろうか。

#### アメリカこぼれ話 - 30

#### 「アロハシャツの起源」

#### J N 協会理事 北村 嵩(松蔭大学教授)

ハワイの代名詞ともいえるアロハシャツはハワイ 観光に欠かせないものである。 風通しが良く、カ ラフルな色と柄、サラリと柔らかな肌触りの布地で 作られ、常夏ハワイならではのファッションであ る。ハワイの大事な土産品の一つであるアロハシャ ツの起源が日本人移民の着物にあるということは余 り知られていない。

日本人のハワイへの移住は、明治元年から始まっ たが、本格化したのは19世紀の終わりから20世紀初 頭にかけてで、主にサトウキビ畑の労働者として働 き、その数は約22万人に上ったといわれる。当時、 ヨーロッパから来た船員たちが着ていた「パラカ」 と呼ばれる開襟シャツの上着が、日本の絣(かす り) に似ており、農園で働く多くの日本人労働者も このシャツを愛用していた。一方、日本人移住者た ちは、日本から持参した着物を大事に着まわし、擦 り切れて着物としての用を足さなくなったとき、そ れを有効活用するために、使える部分を子供用のパ ラカ風シャツに仕立て直して子供たちに着せた。そ の着物独特の色や柄が現地の人々にとって新鮮でエ キゾチックでオシャレに映り、真似して市販の着物 や浴衣の生地でシャツを作って着るようになったと 言われている。

「アロハシャツ」という呼称は、1935年ホノルル の服飾店「ムサシヤ・ショーテン」が「ホノルルア ドバタイザー」紙に掲出した広告が最初といわれ る。「ムサシヤ」は1904年、最初の官約移民のひと りである、宮本長太郎(東京出身)により創業、日 本の反物を使ってシャツを作っていた店であり、息 子孝一郎の時代には評判のアロハシャツの人気店で あった。ムサシヤ・ショーテンのアロハは、今日で も「ヴィンテージ・アロハ」としてマニアの間で大 変な人気である。しかし、「アロハシャツ」の商標 登録を申請し、20年間の独占利用を認められたのは エラリー・J・チャンという中国系商人で、1937年 のことである。アロハシャツ・ブームの絶頂期は、 第2次世界大戦後のおよそ15年間で、米国本土から の観光客たちが、ハワイを訪れた記念として買い求 め、持ち帰るようになり、ハワイ名物として広まっ ていった。現在ではアロハシャツはオフィスやレス トランなどでも着用が許されるハワイにおける男性 の正装として認知され、単なるリゾートウェアとい うよりはハワイの民族衣装として扱われている。

都市の再生、観光振興、環境保全の市民活動に賛同する会 員を募集しています。

個人会員(1口5千円から)、 団体会員(1口5万円から) 東京都渋谷区代々木1ー58ー13小田急代々木ビル3階 JAPAN NOW観光情報協会(電話03-5304-9500)

#### 三大瀑布

#### 小田急電鉄(株)特別社友 利光 國夫

世界三大瀑布と言われる滝がある。北アメリカ大 陸のナイアガラ、南アメリカ大陸のイグアス、アフ リカ大陸のヴィクトリアの三つの滝を指すのだが、 主に日本で使われる呼称らしい。この三つの滝は偶 然にもそれぞれ二つの国に跨っていて国境線の役割 を果たしていることでも知られている。

私はイグアス以外の二つは観ている。ナイアガ ラは三十歳代の頃初めての海外出張の際シカゴから ニューヨークに移動する途中で立ち寄ったのだが、 マリリン・モンローが主演した映画「ナイアガラ」 で滝の景観は承知していたものの現地で目の当りに する壮観には圧倒された。

ヴィクトリアは十数年前観る機会を得たが、水量 が特に多い時期で濛々たる水煙のため滝全体を見渡 すことが出来ず、いささか残念だった。

日本の代表的な滝である「華厳の滝」などは三大 瀑布に比べると箱庭みたいなものだが、独特の日本 的風情を有していてまったく違う味わいの深さがあ りいささかの遜色も無い。

明治三十六年、当時最高の知的エリートである旧 制第一高等学校の学生藤村操がこの滝で投身自殺し た。

「悠々たる哉天壌、遼々たる哉古今、五尺の小 駆を以って此大をはからむとす・・・・、萬有の 真相は唯一言にして尽くす、曰く「不可 解し・・・・、既に巌頭に立つに及んで、胸中何 等の不安あるなし。初めて知る、大なる悲観は大な る楽観に一致するを。」

彼が現場の木の幹に書き残したこの遺書があまり にも名文だったので、後を追って投身自殺した者が 数十名に及んだという。

三大瀑布で投身自殺した者が有るか否かは知らな いが、仮に有ったとしても到底哲学的に様にならな いだろう。

#### 訪日外国人の消費額増える

観光庁の調査によると、日本を訪れる外国人が落とす カネが大きく増えている。2013年10~12月でみると、 3,082億円で前年同期比プラス43.4%。訪日客の増加に加 え、一人あたりの支出額が117,038円と、11.3%増えたこ

国別でみると、中国人が一人当たり約20万円と前年比3 割近い伸びをみせ、アメリカ人の約16万円を抑えトッ プ。韓国の6.6万円の3倍近い。

会員の投稿を歓迎します~情報紙の充実を目指して!! 観光情報紙2014年05月号への個人、団体会員の投 稿を歓迎します(400~500文字程度)。皆様のご意 見を、どしどしお寄せ下さい。詳細は事務局ま で。発行は2014年05月25日、投稿締め切りは、05 月15日です。

#### 詩吟と旅ごころ

#### JN協会 加納 隆

JN協会に加わって暫くして、事務所を訪れた友人た ちから詩吟に誘われた。7年前のことである。以来、上 達はしないが「腹式呼吸で大声を張り上げるのは、健康 のため」と称して、唸りつづけている。

漢詩、短歌、俳句、新体詩等、どのジャンルでも吟詠 できる。このうち漢詩は「酒」「人生訓」「友情」「旅情」 などが題材となることが多い。なかでも、私は酒を主題 にした詩が好きだが、旅を連想させる漢詩も、観光情報 協会にいる人間として、好んで吟じている。

勧渭 選 君城 え 更朝 尽雨 - 浥 安 **杯軽** 函 酒塵 西客

出舍

盏 柳

故色

人新

阕

青 陽

青

左欄の「元二の安西に使いするを送る」 は、当時は地の果てのように言われていた 西域に出向く友人を、別れの場とされてい た渭城の街で送別する詩。高校時代に **伎** 漢文の教師が吟じてくれたのを、今も 思い出す。

右欄の詩は、波瀾万丈 の人生を送り、詩仙とも 酒仙ともいわれる李白の 4 詩。皇帝の怒りに触れ、 白帝城に流されていた李 白が、許されて故郷の江 陵に還る際に作ったとも いわれる。

中国は漢詩のふるさとでもあり、詩 に出てくる地名を見ると訪ねてみたく なる。私は、三度北京や上海には行っ たが、次は愛唱歌の各地に行きたい な、と詩吟仲間と語らっている。

2012年5月逝去された松尾道彦 氏を偲ぶ本「松尾道彦対話集」が

故松尾前理事長を語る本が出版

出版された。

編著者は、松尾氏と出身地が近

く勉強会で常に一緒された藤森啓 治氏。出版社はブイツーソリュー ション、価格は800円(税別)の新

故松尾氏の運輸省(現国土交通 省)の官房長、航空局長、事務次 官時代に手がけた「成田空港」開 港までの、地元民とのさまざまな 局面でのやり取りを、丹念にフォローしている。

読み進むうちに、松尾さんの誠実な人柄、正攻法で物 事を進めていく姿が浮かび上がってくる。また、藤森さ んの松尾さんに対する尊敬の念、先輩からの愛情ともい うべき筆致が、よく表れている。

ご一読を、お勧めする次第である。



近藤さんのブログ、連続2500回

JN紙の「COLUMN」(下欄参照)執筆者、近藤節夫氏は 2007年にホームページを公開、同時に毎日ブログを書き 続けている。最近、それが連続2500回を超えた。近藤氏 は、学生時代から、私鉄系の旅行会社在職中、退職後も 含め世界各地を回っている「旅の達人」。近くノンフィク ション「南の島の日系人大酋長の波瀾万丈」を出版する 予定でもある。

ちなみに、近藤氏のHPは http://www.mr-kondoh.com/ です。

两 朝 早 辭 孝 白 猿 白 声 亭 帝 啼 轸 城 不雲 往间 輕 千 李 舟 里 已江 過陵 萬

Ð 重

山還

#### COLUMN

#### 戦争より地震と蚊が怖かった兵隊さん

ベトナム戦争が激しかったころ、ある鉄道駅に勤務していた。近くに米軍基地があったせいで、勤務 外の米兵たちがしばしば鉄道を利用してくれた。まだ駅には自動券売機が充分備えられていなかったそ の当時、時折米ドル紙幣を持って乗車券を買い求めようとする米兵がいて、そんな時にはよく銀行を案 内したものだった。

ある日改札口にひとりのアメリカ人ベトナム帰休兵がふらりとやって来た。偶々ベトナム戦争につい て話していた時、数日前に初めて経験した地震の揺れには生きた心地がしなかったと言われ、日本では その程度の地震はしょっちゅうだと言い返してお互いに大笑いした。帰休兵はその地震は人生で最も恐 ろしい体験だったと言い、彼にとってはベトコンの奇襲攻撃より、天地がひっくり返るような地震や ジャングル内の蚊の大群の方がよほど怖いと言っていた。

しばらくして不毛のベトナム戦争の実態を知りたくなり戦火の益々激しくなっていったベトナムへひ とり出かけた。サイゴン市内のホテルにチェックインした時、フロントでマッチとろうそくを手渡さ れ、エレベーターには極力乗らないようアドバイスされた。ホテルの部屋から見える立ち昇る黒煙、 'ボン!'と遠くで聞こえる大砲の音、昼夜を分かたず走り回る軍用装甲車のけたたましいサイレン、 夜になると度々起きる停電などに不安を感じた。マッチとろうそくをくれたわけも漸く分かった。

南ベトナムの首都には、あの帰休兵が悲鳴を上げた蚊の大群はいなかったが、反対に私には蚊の大群 より市内の米軍宿舎前で歩哨兵から不意にライフル銃を向けられた方がよほど怖かった。サイゴンを訪 れた翌年、ベトコンによるテト攻勢が始まり、ベトナム戦争は新たな局面を迎えた。

いまNHKの朝ドラ「ごちそうさん」で映し出される空襲シーンを観ていて、久しぶりにベトナム戦争 せられた。

と、戦時中米軍機の来襲に備えて母や兄弟と身を潜めた恐怖感いっぱいの防空壕内の臨場感を思い出さ  城下町と観光 - 37

兵庫県・出石城

#### 小出吉政が出石城と命名

#### 美しい桜並木の先に沢庵寺

JN協会参与 長宗我部友親

出石(いずし)は、但馬国の小京都とも呼ばれる山陰の閑静な城下町である。JR山陰本線の豊岡駅で降り、全但バスに乗り換えて行く。その終点が目指す出石である。



戦国時代に山陰地方で勢力のあった山名氏が、この地に有子山(ありこやま)城を築いていたが、山名祐豊の時代に、羽柴秀吉に攻められ、落城した。その後、播磨国龍野から、小出吉政が文禄4年(1594年)に入って、出石城と命名した。

慶長5年(1600年)に、関ヶ原の戦いが起こり、吉政は、石田三成方に味方したが、

#### **NEW SPOT**

#### in japan 43

#### 郵政博物館

人気観光スポット「東京スカイツリータウン・ソラマチ」も9階に郵政博物館が3月1日開館した。郵便や通信の歴史と文化を伝える所蔵品を展示・紹介する。圧巻は日本最大の展示33万種の切手群だ。大手町再開発に伴い昨年8月末に閉館した逓信総合博物館(ていぱーく)の歴史的資料を引き継いだ。1840年イギリス発行の世界最初の切手「ブラックペニー」や日本初1871(明治4)年の「竜文切手」などが含まれる。

館内は郵便創業時に東京・京都・大阪と東海道の宿場に設置した木製ポスト「書状集め箱」や郵便

全国実施時の黒いポスト「黒塗柱箱」、昭和初期から戦後しばらく使った神田須田町郵便局の窓口カウンターなどが並ぶ。明治初期の郵便輸送に使っ

た「人車」や「行李」、木製・革製の「郵便配達用かばん」や配達護身の6連発ピストル「郵便保護銃」など

小出の別の一族が、安全を見て、徳川方について活躍していたため、小出吉政は所領を安堵されて、出石藩を立藩した。

小出吉政は、父の秀政が慶長9年(1604年)に 死去したため、父の領地である岸和田に移り、 出石藩は吉政の嫡男である吉英が継いだ。吉英 は本格的に出石城とその城下町の整備を行っ た。吉英は平地に堀で囲まれた三の丸や、城主 の居館も造った。しかし、その後の出石藩は、 上田から仙石政明が城主として入るなど、藩主 がいくどか入れ替わった。



城下には、沢庵和尚が吉英に進言して、元和2年(1616年)に再興した臨済宗の宗鏡寺(すきょうじ)があり、別名沢庵寺とされている。 桜並木になっている寺へと続く坂道が美しい。



郵便輸送の人車や黒塗りの郵便箱(ポスト)など歴史伝える展示

の展示も興味深い。

開館は10時~17時半、原則として年中無休だが展示替えなどの「不定休」がある。入場料は大人300円(団体10人以上250円)、小中学・高校生150円(同100円)。東武スカイツリーライン・東京メトロ半蔵門線・京成押上線・都営浅草線の押上(スカイツリー前)駅下車すぐ。

同館を運営する公益財団法人通信文化協会(天野定功理事長)は通信文化の普及・発展へ「手紙など文字コミュニケーション文化と情報通信・放送文化の向上」を目指すという。ネットやメール利便の社会だが今後とも手紙や手書き文字など心温まる日本固有の文化を育む企画にも力を注ぐよう期待したい。

(文・写真 林 莊祐)

#### 和食文化ブームで?進水式に日本酒

#### J N協会理事 寺前 秀一(観光学博士)

三十年ぶりに瀬戸内の造船所での進水式に参加する機会を得た。前回の経験は神戸の造船所において、美人の韓国船主夫人のもとシャンペンが割られたが、今回は日本酒が使用されていた。荷主が出光興産ゆえに、宗像大社ゆかりのお神酒が使われたのだが、折からの和食ブームで日本酒の国際評価も高くなっているから、日本酒使用もありと感じた。

和食が世界無形遺産に登録されたことがマスコミで話題になっているが、ここでも筆者のテーマである日常と非日常を考えさせられた。和食は日本人の日常の食習慣を総称したものであり、当然主食であるコメを中心に回っていると思うはずである。しかし日本の主食が米という概念を若者は持たなくなっているから、TPPについても消費者である若者の共感が得られないのである。子どもの頃白黒テレビに出てきたアメリカ製ドラマの家庭の食事時、チョコレートにビスケット、バナナにパイナップルを各自が思い思いに食べている様を見て驚いたことを思い出すが、今日の日本の家庭の食事も各自が思い思いのものを選択しているから、主食概念がなくなってしまったといえる。

これまで「主食」概念は日本にしかなかったから、いよいよ日本も食文化において国際化したということになる。その代わり、コメを中心とした和食が非日常化した結果を反映して、観光資源としての世界無形遺産に加えられたというのは皮肉なことである。

#### 「東海道新幹線 50年」を発刊

#### JN協会副理事長・須田 寛氏 (JR東海相談役)

今年10月、東海道新幹線が開業して50周年を迎える。軍需物資など輸送力増強を目指して生まれた昭和10年の『弾丸列車』構想が、第二次世界大戦、戦後の復興期と言う空白を経て、実現の一歩を踏み出したのは昭和30年ごろ。計画、工事着手、完成までの間、旧国鉄の経営悪化などもあり、苦難の連続だったと、著者の須田氏は述懐している。同時に、この50年間の人身事故ゼロは世界に誇る実績、と強調している。この期間中、須田氏は国鉄、JR東海在任期間を通して、新幹線に深く携わっており、新幹線に関しては第一人者と言われる。

この本は、今年3月、交通新聞社から発行、税別1800円だが、250ページに及ぶ大著も読みやすい文体で、貴重なデータも満載されている。新幹線の過去、現在を詳しい資料や図表を駆使して記述されており、鉄道ファンならずとも、必読の書と言ってよい。

#### 観光立国セミナー

☆97回(2014年2月14日) 於海事センター

......

#### サハラ砂漠とタコ 中村 正明氏

#### (元日本鰹鮪漁業協同組合連合会役員)

1978年から7年間、国際協力事業団から派遣され、アフリカ北西部にあるモーリタニアの漁業指導に当たった経験を語った。タコ壺漁を導入、現地ではほとんど商品にならなかったタコを「壺タコ」の名でブランド化し、今では年間1万トンを超える日本向け輸出となっている。氏は、1999年国家功労賞(騎士勲章)を授与された。

☆98回(2014年3月20日)於海事センター

#### オバマ米大統領夫妻とアメリカの黒人

#### 北村 嵩氏(松蔭大学教授)

JTB在職中アメリカに通算12年住んでいた北村氏は、大の消息通である。オバマ大統領の父親はケニア出身でアメリカ留学中に白人と結婚したエリート。ミシェル夫人にも白人の血が流れているという。いわゆる黒人奴隷の子孫ではないので、白人社会に受け入れられ、大統領にのぼりつめた。

アメリカの黒人には、アフリカ系(アフリカン・アメリカン)と中南米系(カリビアン・アメリカン)があり、人口の12.6%を占める。一方、中南米から来たヒスパニック系は16%と、なお増える傾向にある。「二人目の黒人大統領誕生よりは、ヒスパニック系大統領実現の可能性の方が高い」と、北村氏は見ている。

**予告** 99回は4月11日(金)白石・ルース・ジャーマン さん。「日本人が世界の誇れる33のこと」 100回は、6月の予定。 いずれも、麹町の「海事センター」で。

JN協会主催の観光立国セミナーのこれまでの講演内容は別途、 原文のまま印刷物とし、事務局に保存してあります。

#### ★ 福島原発を観光地に

各地の話題

「ローマ人の物語」などで知られる作家の 塩野七生さんが、廃炉が決まっている福島第一原発を観光 地化し、世界中の人々に見てもらおう、という案を朝日新 聞3月13日号のインタビューで語っている。この構想は、す でに東浩紀さんらが言い出していて、塩野さんはこれに賛 同する形での発言だ。事故処理、廃炉までの道のりで日本 の高い技術力を世界に示すことができる、とも言う。同時 に、塩野さんはとくに中小企業のためにも、電力料を安く できる原発再稼働にも賛成、としている。

このことについての賛否は両論あろうが、ローマ在住で 世界をよく知る塩野さんの意見は、謹聴に値する?

#### ☆ リニア新幹線を巡る動き活発化

2027年東京(品川) -名古屋間の開業を目指して時速500キロのリニア新幹線が、いよいよ着工の運びになる。東海道新幹線がマンパイ状態にありこと、また予測されている東海大地震に備えての大動脈のダブルトラック化、という意味合いも含め、JR東海が単独事業として実施する。

ところが、2020年東京五輪・パラリンピックが決まった後、それに間に合わせて一部でもいいから走らせろ、という声が高まっている。1964年の東京大会時に新幹線を開業したように、日本の技術力を示す格好のショーウインドーになる、という考えだ。また、将来、大阪に延伸するする際、JR東海は奈良経由ルートを想定しているが、「海外からの観光客誘致には、京都を外すしてはならない」論も、出ている。

#### ☆ 羽田空港発着便拡大へ

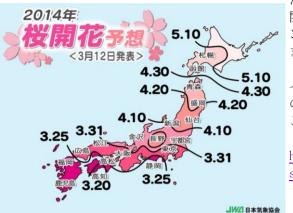
3月29日に羽田空港の国際線発着便が、大幅に増える。これに伴い、旅行会社や航空会社は、海外ツアーを拡充する予定。また、東京五輪にも備え、ホテルなど空港周辺のサービス業も海外客受け入れ態勢の充実を図っている。

#### ソメイヨシノ発祥の地

今回のJAPAN NOWがお手元に届く頃には、四国や九州 各地から桜の開花の便りが聞かれ始めていることでしょ

う。今年の桜の開花日は、ほぼ平年 並みの予想ですが、関東地方とその 周辺地域では平年より3~4日遅い所 があるでしょう。

日本気象協会の桜開花予想の対象 は主にソメイヨシノです。ソメイヨ シノはエドヒガンの園芸種とオオシ マザクラの交配種で、江戸時代の染 井村、現在の東京都豊島区駒込地域 が発祥といわれています。接ぎ木に よって増えるため各地のソメイヨシ ノは性質が皆同じで、同じ地域内で は一斉に咲くことが特徴です。



このソメイヨシノ発祥の地とされる東京都豊島区で は、ソメイヨシノ・プロジェクトを実施し、苗木を区内 の公園や学校、姉妹都市の公園などに植樹し、ソメイヨ シノで四季を感じるまちづくりをおこなっています。ま

> た、区内で基準の木を定め、 開花予想日クイズやフォトコ ンテストなどもおこなってい ます。

> 全国各地で、この春も桜の イベントがおこなわれ、多く の人が咲き誇った桜を楽しむ ことでしょう。

(資料:日本気象協会 http://www.tenki.jp/ sakura/ )

日本気象協会 小田美穂

特別顧問 丹羽 晟(元理事長、日本空港ビルデング顧問)、

丸山 博(元国土交通審議官)、本保 芳明(初代観光庁長官)

理事長 大島愼子(筑波学院大学学長)

岡村進(元小田急トラベル社長)、 横山善太(元㈱JALUX特別顧問)、 副理事長

須田寛(東海旅客鉄道相談役)、加納隆(元朝日新聞経済部記者)

事務局長 杉行夫(理事)、事務局次長:堤るり(理事)

支部長 片山文彦(新宿)、魚住隆彰(北陸)、長尾亜夫(九州)、 須田寛(中部)、

岩田弘三(神戸)、梅原利之(四国)

#### 【団体会員】

AGC硝子建材エンジニアリング(株)、(株)朝日ネット、(有) 青葉、(株)アト・ルックス、(株)アルヒ・オン、 荒井建設(株)、アンテ・ス電気(株)、 安藤建設(株)、イーエムティー(株)、池田煖房 工業㈱、㈱伊勢丹、富山県射水市、㈱井六園ワールド、岩田地崎建設㈱、㈱えんれいしゃ、(財)NHKインターナショナル、NPO「江戸城天守を再建する会 」、㈱大林組、隠岐の島町(島根県)、㈱奥村組、小田急電鉄㈱、㈱小田急トラベル、鹿島建設㈱、鹿島道路㈱東京支店、大阪国際空港ターミナル㈱、 (㈱大塚食品、環境テクノス㈱、関西電力㈱、九城企業㈱、㈱九電工東京支店、九州電力㈱、九州旅客鉄道㈱、㈱熊谷組、(社)くらしのリサーチセンター (株)グリーンキャブ、 群馬県、京浜急行電鉄(株)、(株)耕人舎、佐川アドバンス(株)、(株)サマンサタバサジャパンリミテツド、三協立山(株)、三普旅行社有限公司、四国電力 (株)、四国旅客鉄道(株)、清水建設(株)、株JAL-DFS、株JALUX、株JTB、消音技研(株)、新菱冷熱工業(株)、(株センインターナショル、常磐興産ピーシー(株)、住友電 設㈱、(有)西洋館センター、竹内印刷㈱、㈱銭高組、全日本空輸㈱、パーキングプロ㈱、セントラルリーシングシステム㈱、㈱ダイエーコンサルタンツ、第一交通産業㈱、 第一資材㈱、㈱大気社、大興物産㈱東京支店、大成建設㈱、大成有楽不動産㈱、大成設備㈱大成ロテック㈱、大成ユーレック㈱、大鉄工業㈱北 陸支店、大日産業㈱、㈱高商、高砂熱学工業㈱、㈱竹中工務店、㈱丹青社、中国電力㈱、TCトレーディング㈱、㈱哲建、電研工業㈱、東海旅客鉄道 (株)、東急建設(株)、東京急行電鉄(株)、東京国立博物館、(財)東京観光財団、東光電気工事(株)、東芝エレベータ(株)、医療法人社団同友会、トーヨーカネツンリ ューションス\*(㈱、戸田建設㈱、名古屋鉄道(㈱、西日本鉄道(㈱、西日本旅客鉄道㈱、㈱西原衛生工業所、西松建設㈱、日墨ホテル投資㈱、日本オーチス. ・エレベータ㈱、㈱日本海コンサルタント、日本空港ビルデング㈱、㈱日本航空インターナショナル、、財)日本交通文化協会、(社)日本添乗サービス協会、㈱日本プラ ン)建設、専門学校日本ホテルスクール、㈱ニューテック、ネスレ日本㈱、箱根町(神奈川県)、箱根建設㈱、羽田旅客サービス㈱、東日本旅客鉄道㈱、 (株)日立ビルシステム、(株)日立製作所、広島電鉄(株)、福岡空港ビルディング(株)、(株)バロックジャパンリミテッド、(株)フィールドサービス、富士機材(株)、藤長電気(株)、富士 通㈱、プラネットワークス㈱、北海道旅客鉄道㈱、北海道電力㈱、北陸電力㈱、北海道空港㈱、㈱ホテル小田急、㈱ホテル外ロポリタン、前田建設工業㈱、㈱ ホテルマリックス、マイナミホールディングス(株)、(株)まるまんフィオーレ、三井住友建設(株)東京建築支店、三菱電機(株)、(株)山武ビルシステムカンパニー、有楽土地(株)、横 浜貨物綜合㈱、横浜ビル建材㈱、㈱ランゲージネット、菱重輸送機エンジニアリング㈱、りんかい日産建設㈱

#### 特定非営利活動法人(NPO)

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます

# 観光情報協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-13 小田急代々木ビル3F 電 話 03(5304)9500 FAX 03(5304)5632 E-mail info@japannow.org Home page http://www.japannow.org

発行人:大島愼子(JN協会理事長) 編集長:加納 隆(JN協会副理事長) 発行部数:3000部 主な配布先:会員、中央官庁、 地方自治体、民間企業、マスコミなど

#### 編集後記 国際収支に見る「老大国化」、がんばれ観光

このところ、国際収支の状況が激変している。その主な原因は、貿易収支が大 幅な赤字に転落していることだろう。2013年の実績(速報値)でみると、国際収 支は約3兆3000億円の黒字. これは最近では2007年の約25兆円に比べ桁違いの下落 ぶり。貿易収支の赤字約10兆6000億円が響いている(ちなみに2007年の貿易収支 は12兆3000億円の黒字)。貿易収支は24兆円減となっている。

まさに国是だった"貿易立国"が揺らいでいるのだ。原発事故による電力原料 の輸入拡大、それに円安が追い打ちをかけている格好。しかも、抜群の競争力を 誇っていた日本産業にも陰りがみえ、海外生産の増加も相まって、輸出は伸び悩 み状況だ。それを補っているのが、海外投資の効果で資本収支が大きく伸びてい ることで、やっと国際収支の赤字転落を防いでいるのが現状だ。これは、経済成 熟国でみられた"老大国"への道とも考えられ、先行きが気になるところ。

観光の国際収支は貿易外収支であり、かつて輸出急増に対する海外からの批判 を和らげるため海外旅行を奨励し、観光収支の赤字が3兆円にも上ったことがあ る。2011年には、1兆3000億円の赤字に減っているが、この収支の黒字化を目指す こと、つまり海外からの観光客を増やすことが、われわれの使命! (加納)